

令和7年度 社会福祉法人真徳会決算報告書

資金収支計算書

(自) 令和07年04月01日 (至) 令和08年03月31日

(単位:円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	介護保険事業収入	14,256,820
	専門学校事業収入	26,337,428
	就労支援事業収入	15,115,857
	障害福祉サービス等事業収入	80,709,783
	経常経費寄附金収入	5,000
	その他の収入	1,086,990
	受取利息配当金収入	98,586
	事業活動収入計	137,610,464
	支出	
	人件費支出	72,378,589
	事業費支出	14,397,300
	事務費支出	29,828,337
	就労支援事業支出	15,011,442
施設整備等による収支	支払利息支出	678,376
	事業活動支出計	132,294,044
	事業活動資金収支差額	5,316,420
	収入	
	施設整備等補助金収入	4,000,000
	施設整備等収入計	4,000,000
	支出	
	固定資産取得支出	1,133,880
	施設整備等支出計	1,133,880
	施設整備等資金収支差額	2,866,120
	収入	
	長期運営資金借入金収入	30,000,000
	その他の活動収入計	30,000,000
	支出	
	役員等長期借入金元金償還支出	840,000
その他の活動による収支	長期運営資金借入金元金償還支出	9,300,000
	積立資産支出	100,000
	その他の活動支出計	10,240,000
	その他の活動資金収支差額	19,760,000
	当期資金収支差額合計	27,942,540
	前期末支払資金残高	25,089,304
	当期末支払資金残高	53,031,844

事業活動計算書

(自) 令和07年04月01日 (至) 令和08年03月31日

(単位:円)

勘定科目		決算額
サービス活動増減の部	収益	
	介護保険事業収益	14,256,820
	専門学校事業収益	26,337,428
	就労支援事業収益	15,115,857
	障害福祉サービス等事業収益	80,709,783
	経常経費寄附金収益	5,000
	サービス活動収益計	136,424,888
	費用	
	人件費	72,378,589
	事業費	14,397,300
	事務費	29,828,337
	就労支援事業費用	15,011,442
	減価償却費	4,081,114
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-4,204,984
サービス活動外増減の部	サービス活動費用計	131,491,798
	サービス活動増減差額	4,933,090
	収益	
	受取利息配当金収益	98,586
	その他のサービス活動外収益	636,250
	雑収益	450,740
	サービス活動外収益計	1,185,576
	費用	
	支払利息	678,376
	サービス活動外費用計	678,376
	サービス活動外増減差額	507,200
	経常増減差額	5,440,290
	特別収益	
	施設整備等補助金収益	4,000,000
繰越活動増減差額の部	特別収益計	4,000,000
	費用	
	固定資産売却損・処分損	6
	国庫補助金等特別積立金積立額	4,000,000
	特別費用計	4,000,006
	特別増減差額	-6
	当期活動増減差額	5,440,284
	前期繰越活動増減差額	1,772,361
	当期末繰越増減差額	7,212,645
	工賃変動積立金積立額	100,000
	次期繰越活動増減差額	7,112,645

貸借対照表

令和08年03月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	61,352,984	流動負債	18,381,140
固定資産	60,365,927	固定負債	26,408,000
		負債の部合計	44,789,140
		純資産の部	
		基本金	67,638,000
		国庫補助金等特別積立金	1,179,126
		工賃変動積立金	1,000,000
		次期繰越活動増減差額	7,112,645
		純資産の部合計	76,929,771
資産の部合計	121,718,911	負債及び純資産の部合計	121,718,911

法人全体

財 産 目 録
令和08年03月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資 産 の 部						
1 流動資産						
現金預金						
預金		—		—	—	44,403,834
通知預金	常陽銀行／白河支店	—		—	—	1,001,357
普通預金1292522	常陽銀行／白河支店	—		—	—	4,397,686
普通預金1342692	常陽銀行／白河支店	—		—	—	9,110,439
普通預金1344961	常陽銀行／白河支店	—		—	—	6,183,814
普通預金1300538	常陽銀行／白河支店	—		—	—	8,958,791
普通預金1311011	常陽銀行／白河支店	—		—	—	6,821,359
普通預金1374512	常陽銀行／白河支店	—		—	—	6,123,919
ゆうちょ銀行		—		—	—	1,672,931
夢みなみ農業協同組合		—		—	—	133,538
現金		—		—	—	407,152
現金		—		—	—	780
小口現金		—		—	—	406,372
			小計			44,810,986
事業未収金		—	2、3月請求分	—	—	13,229,510
福島県国民保険団体連合会		—	3月請求分、未収金	—	—	747,690
利用者負担額		—	2、3月弁当売上他	—	—	2,136,195
その他			小計			16,113,395
未収金		—		—	—	1,831
未収補助金		—		—	—	309,136
前払金	遠藤商事株式会社	—	駐車場4月他	—	—	117,636
			流動資産合計			61,352,984
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	福島県白河市関	—	共同生活援助福祉ホームひもろぎの園	—	—	14,410,000
建物	辺引目橋31番地6 福島県白河市関 辺引目橋31番地6	平成17年度	共同生活援助福祉ホームひもろぎの園	43,228,000	23,227,845	20,000,155
			基本財産合計			34,410,155
(2) その他の固定資産						
建物	福島県白河市関 辺引目橋51番地2 福島県白河市本 町2番地(マイタウン)	平成24年度 平成29年度	就労継続B食工房ひもろぎ しらかわ介護福祉専門学校	12,382,650 18,252,000	4,507,277 7,556,328	7,875,373 10,695,672
建物附属設備	福島県白河市関 辺引目橋31番地6 福島県白河市関 辺引目橋51番地2 福島県白河市本 町2番地(マイタウン)	—	共同生活援助福祉ホームひもろぎの園 就労継続B食工房ひもろぎ	10,499,264	7,143,473	3,355,791
構築物	しらかわ介護福祉専門学校 法人本部(福祉ホームひもろぎの園)	—		11,088,800	10,518,595	570,205
車輜運搬具	就労継続B食工房ひもろぎ ダイハツミラ トヨタステーションワゴン トヨタポルテ	—		2,760,000	2,759,997	3
器具及び備品	法人本部(福祉ホームひもろぎの園)	—		44,208,870	41,750,142	2,458,728
工賃変動積立資産	共同生活援助福祉ホームひもろぎの園 就労継続B食工房ひもろぎ しらかわ介護福祉専門学校	—		—	—	1,000,000
			その他の固定資産合計			25,955,772
			固定資産合計			60,365,927
			資産合計			121,718,911
Ⅱ 負 債 の 部						
1 流動負債						
事業未払金		—		—	—	2,149,140
就労継続利用工賃		—		—	—	2,969,001
その他		—		—	—	732,799
社会保険料			小計			5,850,940

法人全体

財 産 目 録
令和08年03月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
1年以内返済予定長期運営資金借入金		—		—	—	9,260,000
1年以内返済予定役員等長期借入金		—		—	—	800,000
			小計			10,060,000
預り金		—		—	—	1,021
高山労務管理士	—	—		—	—	10,209
非常勤講師	—	—		—	—	780
その他	—	—		—	—	2,042
岩波公認会計士	—	—		—	—	14,052
			小計			14,052
職員預り金		—		—	—	▲142,599
源泉所得税	—	—		—	—	718,847
社会保険料	—	—		—	—	159,900
住民税	—	—		—	—	736,148
			小計			736,148
前受金		—		—	—	1,720,000
			流動負債合計			18,381,140
2 固定負債						
長期運営資金借入金		—		—	—	21,408,000
役員等長期借入金		—		—	—	5,000,000
			小計			26,408,000
			固定負債合計			26,408,000
			負債合計			44,789,140
			差 引 純 資 産			76,929,771

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載する。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
- また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

監査報告書

令和 8 年 5 月 26 日

社会福祉法人 真徳会

理事長 渡部真樹 殿

監 事 有 賀 秀 晴 
監 事 青 砥 正 

私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法に基づき、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）並びに財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

令和8年3月31日

令和7年度の主な事業報告

社会福祉法人真徳会

社会福祉事業

・共同生活援助 福祉ホームひもろぎの園

平成24年4月共同生活援助として移行し、令和7年度も同様に利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、食事指導、生活相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行い、支援してきました。施設行事や外出支援について感染症対策をしながら可能な限り利用者が安心して生活を送れることを考え実施してきました。また、利用者の高齢化にともなって各定期検査で要精密検査の判定を受ける方が以前より多くなってきており今後も利用者の体調管理に注視し事業運営にあたります。

・就労継続支援B型 食工房ひもろぎ

平成24年4月に、定員20名で開所。令和7年度は定員20名お弁当作り・内職作業・手工芸品の作成などを行っています。内職作業は昨年同様コロナ禍で企業からの仕事が減少しました。工賃時給が維持向上できるよう試行錯誤しながら実施してきました。結果平均工賃も初めて15000円以上となり継続していけるようにしていきたい。作業を通して、働く楽しさを知り、安定した生活を営むことができるように、また安定した就労が継続して行えるように支援してきました。コロナ過での影響が現在もあり内職作業は減少している為手工芸品の販売先の開拓や弁当部においても新規開拓し広げ、今後も維持向上できるよう努めて行きます。

公益事業

・居宅介護支援事業所ひもろぎ

平成19年6月に開所。令和7年度も月平均70件弱の支援件数を実施、その他認定調査やケアプラン作成、在宅生活の実現や維持するために本人、家族の意向を踏まえ関係機関の調整を行い、生活の質を高める支援を実施しています。コロナ過以降オンラインでの研修での自己研鑽はもちろん、ケアプラン点検や適切なケアマネジメント手法等様々な手法を取り入れ柔軟に対処し在宅生活を維持できるよう支援してきました。今後も自己研鑽しながら利用者支援をして行きます。また、昨年度頃から地域での在宅サービスの撤退や縮小が進みなかなか在宅での支援が困難な状況となっている。地域の資源に限りがあるなかではあるが今後も充実した支援をしていきたい。

・しらかわ介護福祉専門学校

平成29年4月に開校。令和7年度は1学年12名、2学年6名の計18名で推移しております。そのうち外国人留学生を3名受け入れています。2年生の就職率は100%、国家試験合格も留学生以外は全員合格となっております。社会福祉士及び介護福祉士法の定めるところにより、幅広い教養と専門知識・技能・態度を要する介護福祉士を教育するとともに豊かな人格を育て、社会福祉事業に献身することのできる人材を養成することを目的とし活動してきました。介護実習や地域との交流を持つ事で実践力のある人材育成に尽力してきました。

収益事業